



向後町長の話に耳を傾ける出席者（二又区）

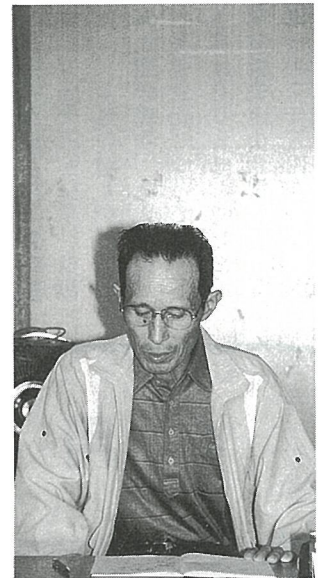
## 防災行政無線パンザマストの増設

の入学者も多いことから、県内の病院への就職率は低く、しかも新卒者については、卒業教育の受けられる施設（病院）を希望していることから、確保について

は非常に難しい状況です。したがって、現在は新聞折り込みなどの募集活動と平成12年度採用を目的に2名の学生を育成しています。

防災行政無線施設は昭和61年度に導入し、そろそろ入替えの時期にきています。したがって、パンザマスト

の増設は、親局の入替時に全町的な見直しを行って一番有効に活用できる方法で設置していきます。



要望事項の説明をする椎名行政委員（篠本三区）

災害が発生した場合には、的確な情報を迅速に伝えることが一番重要だということ

とを念頭に置いて検討してまいります。

## 関係機関と連携を取りながら対応

交通安全施設であるカーブミラーと注意を促す警戒標識の設置については、随時総務課で申請を受け付け、交通安全上必要のある所へ設置しています。

また、信号機や規制標識・指示標識の設置については、千葉県警察本部交通規制課（窓口は、八日市場警察署）の許可が必要となるので、交通規制課に要望し

ていきます。

交通安全対策については、運転手のモラルに頼るところが大きいので、八日市場警察署並びに交通安全協会等の関係機関と連携を取りながら今後も引き続き安全運転を呼びかけていきます。また、道路に木の枝などがでてきて、通行上障害になる場合には、建設課まで連絡ください。

## 総務課で受け付け随時対応

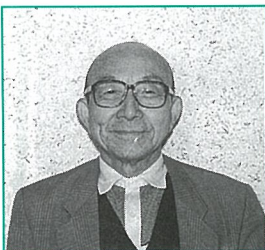
防犯灯の設置については、随時総務課で申請を受け付

け、現地を確認したうえで、防犯上必要のある所へ設置

## 膝をつき合わせての応答は面白い企画

あいにくの雨の中、町長以下職員のみなさんと地区の議会議員の方々が、当県営団地の狭い集集場所に押しくらマンジュウの形で入来される。以前町民会館で地区合同で行われていたのとは異なり、町長と膝をつき合わせての応答は初めてで、これは面白い企画と感心する。しかしながら、出席住民は総勢8人。ご承知のように当県営団地の住民は勤労者が大半であるので、ウィークデイの催しの人集めは難かしいが良く集めた方である。

議題は空室問題がメインテーマであるから結論はせず、今後町はバックアップということになりました。それはともかく、町長以下担当課長の真摯な回答には敬意とお礼申しあげたい。私がかねがね役場の会合に向うたびに感じることで、こと改めて



室井五郎さん（県営団地）

申しあげるまでもないが、町民の行政に対する信頼感、対する行政の町民へのサービスの温かさは、都会生活で染み込んだ私の住民感情を見事に引継り返してくれたのである。決してヨイシヨイではない。

していますが、電気料等の維持管理は集落にお願いしています。また、現在町では、学校周辺並びに町内主要道路の防犯灯（街路灯）として、水銀灯またはナトリウム灯の設置を計画的に進めており、

水銀灯等の設置後の維持管理は、町が行っています。設置を必要とする区間が、まだたくさん残されており、これを推進することを第1と考えていますので、理解と協力をお願いします。